

【社会科・中2・地理的分野 「関東地方」①】

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 関東地方について、交通・通信を中核とした考察を基に、地域的特色や地域の課題を理解することができる。
- (思・判・表) 関東地方の地域的特色を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生じる課題と有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現することができる。
- (学びに向かう力等) 関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。

ICT活用のポイント

・意見の共有と交流から深い学びへつなげる授業

[つかむ]

前時までの学習を振り返り、単元の課題を確認する。

課題 「首都がある関東地方には、どのような特色があるだろう」

[追究する]

関東地方の特色を、首都機能に着目したり、他の地方と比較したりして考える。

[まとめる]

関東地方の特色を交流を生かしてまとめる。

事例の概要

- 今までの学習を踏まえ、関東地方の特色を個人で考える。
- 考えた意見を共有し、友達と交流をする。
- 交流した内容を基に自分の考えを再考し、意見集約機能に入力して共有する。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 関東地方に首都があることを踏まえ、関東地方の地理的な特色をホワイトボード機能のソフトを活用して入力する。入力された意見を基に交流をして考えを深める。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 意見集約機能のシートに自分の考えを入力して全体で共有し、自分のまとめと他の生徒まとめを比較して、さらに自分の考えを深める。

【社会科・中2・地理的分野「関東地方」②】

【事例におけるICT活用場面①】

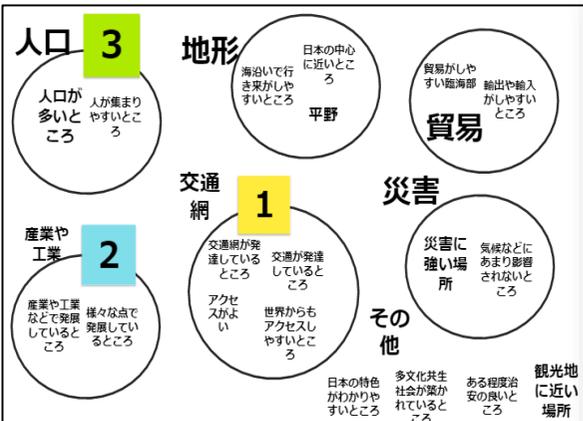


図1

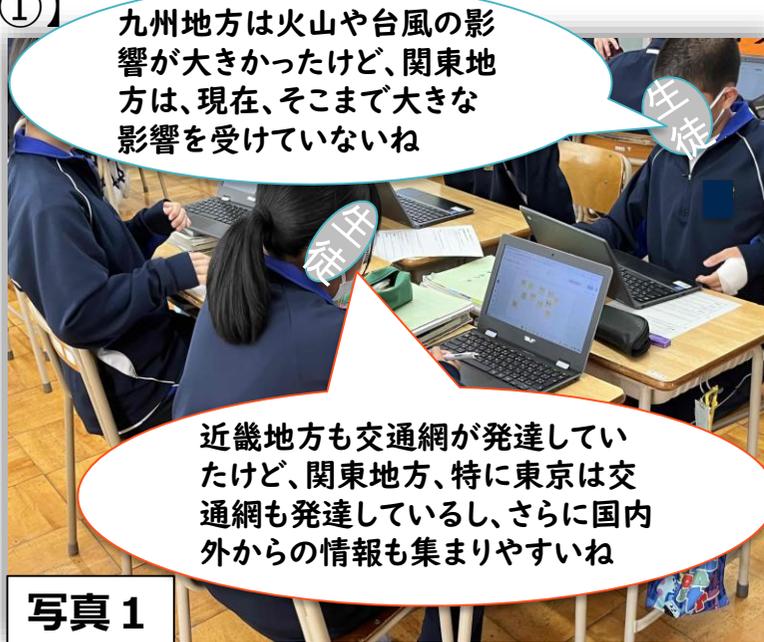


写真1

関東地方の特色について考える場面では、図1のようにホワイトボード機能のソフトを活用した。人口や交通の視点など、首都がある地域の特徴を考えて入力させた後、班で交流させた。

さらに、写真1のように、今までに学習した他の地方と関東地方の共通点・相違点を班で話し合わせ、ホワイトボード機能に入力させた。他の地域と比較することで関東地方の特色について、さらに考えを深めさせた。

【事例におけるICT活用場面②】

単元の課題に対する最初の考え	
1	平野が広く、人が多く集まりやすい地形
2	交通が発達している
3	人口が多く、情報が集まりやすい
4	政治の中心 国会議事堂
5	人口が多く、交通網が充実している
↓	
単元の課題に対する交流後の考え	
1	人が多く集まっているし、さらに交通網が発達しているが、首都直下地震などの災害時の対策が必要
2	他の地方に比べて、交通が発達しているだけでなく、情報も集まりやすいが、人が集まることで渋滞や騒音などの問題もある
3	関東地方はTV局や出版社が多くあり、情報が集まりやすい。産業面でも京浜・京葉・北関東工業地帯など生産額が多い工業地帯がある。
4	政治の中心である霞が関があり、さらに高速道路、電車、地下鉄など交通網も発達している。東京などに人が集まりやすくなっている
5	人口が多く、交通網が充実しているだけでなく、情報も集まりやすく流行の中心でもある

図2

自分の意見をまとめる場面では、図2のように、交流を踏まえ単元の課題について考えたことを、意見集約機能を使って入力させた。意見集約機能は、他の生徒のまとめも同時に見られるので、自分の考えをさらに修正しよりよいものにすることができた。

また、単元の最初の考え(青色)と比べてみると、生徒の考えが共有と交流によって深まっている(緑色)様子が分かる。

【活用したソフトや機能】
学習支援ソフト

- ・ホワイトボード機能
- ・付箋紙機能
- ・意見集約機能